

半田の防災ニュース

・半田防災リーダー会

・半田市防災安全課

第31号(年2回発行)

編集・発行 防人編集実行委員会

問合せ先: 090-4183-4158 (大竹)

防(さきもり)人



「避難行動要支援者名簿」と「個別避難計画」-ふだんの安心につなげるために

半田市福祉部地域福祉課 深川 芳行

災害が起きたとき、足腰が弱い、障がいがある、持病や医療機器がある——そんな事情を抱える方ほど、避難の準備に時間や手助けが必要になります。半田市では、平時から支える仕組みとして災害対策基本法に基づき「避難行動要支援者名簿」と「個別避難計画」の作成に取り組んでいます。

「避難行動要支援者名簿」は、災害時に支援が必要な方を把握し、行政や関係機関が連携するための土台となる名簿です。一定の要件に該当する方が名簿の対象となり、令和8年4月時点で約2,900名います。ただし、名簿に載っているだけで要支援者の避難の段取りが決まるわけではありません。そこから一步進めて、「その人らしい避難の方法」を具体的にしていけることが大切です。

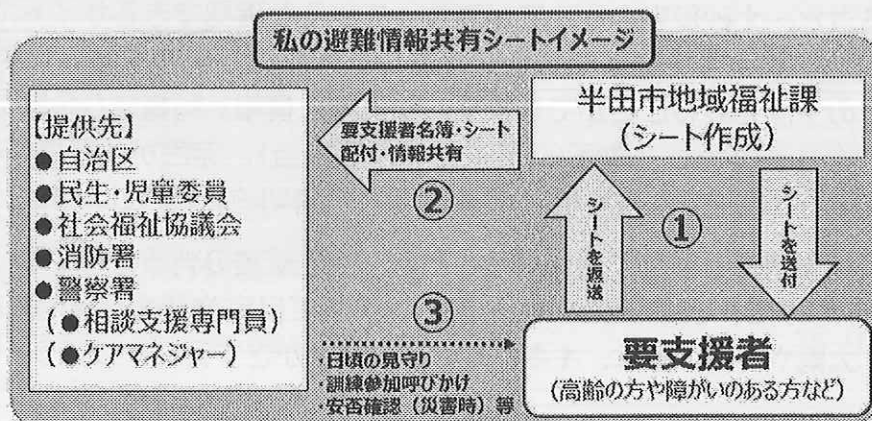
「個別避難計画」は、避難行動要支援者一人ひとりの避難手順をなるべく具体的にしておくものです。半田市では「私の避難情報共有シート」という名称を使い、「制度の書類」というより「自分と家族のための準備メモ」として手に取ってもらいやすくしています。

シートで確認する主なポイントは、避難先・避難のタイミング・移動手段・手助けが必要な場面・優先して持ち出すもの・緊急連絡先などです。事前に整理しておくことで、緊急時の判断がしやすくなります。

名簿等の個人情報について、平常時は本人の同意をいただいた場合に限り、自治区・民生委員・消防署などの関係機関と情報を共有します。ただし、災害時は、人命にかかわる緊急の状況であるため、本人の同意がなくても関係機関と情報を共有する事としています。いずれの場合も、支援に必要な情報が必要な相手に届く状態を大切にしています。

名簿や計画は作成して終わりではありません。ご本人の体調や家族体制、住まいの状況は変わります。だからこそ、定期的な見直しが実効性を支えます。

「避難行動要支援者名簿」と「個別避難計画」は、避難が難しい方を取り残さないための備えです。ふだんの暮らしを大切にしながら、いざというときの安心を増やしていければと思います。



『新しい防災気象情報について』

防災安全課 防災監 竹内 健

令和8年5月29日から「新しい防災気象情報」がスタートしました。既にニュース等でご存じの方も多いと思いますが、変更点を改めてご紹介します。

【主な変更点】

①防災気象情報を5段階の警戒レベルにあわせて発表

②レベル4相当の情報として「危険警戒」を新設

③情報名称そのものにレベル（1～5）の数字を付けて発表

①②は、「今までの分類を整理しなおす」ための変更になります。災害ごとに表現や基準がバラバラだった情報をわかりやすく整理しました。（下図参照）主な変更としては、レベル4危険警戒を新設し、「避難指示」の避難情報と関連付けしたこと、洪水警戒・洪水注意報がなくなり、洪水予報河川※については氾濫警戒・注意報、その他の河川については大雨警戒・注意報に整理されたことがあげられます。

③は、「防災気象情報ととるべき防災行動の関係をわかりやすくする」ための変更になります。各警戒・注意報に、レベル2～5のレベル別標記を追加して発表されるようになります。

※水防法に基づく流域面積が広い河川のこと（愛知県内では5つの河川がある）

旧

警戒レベル 対応情報	防災気象情報			
	指定河川	洪水警	大雨洪水警	土砂災害警
5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警戒 (浸水警)	大雨特別警戒 (土砂災害)	高潮氾濫 発生情報
4 相当	氾濫危険情報		土砂災害警戒 情報	高潮特別警戒 高潮警戒
3 相当	氾濫警戒情報	洪水警戒	大雨警戒 (土砂災害)	警戒に切り替える 可能性が高い 高潮注意報
2	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報	高潮注意報

新

警戒レベル 対応情報	防災気象情報			
	洪水に 関する情報	大雨に 関する情報	土砂災害に 関する情報	高潮に 関する情報
5 相当	レベル5 氾濫特別警戒	レベル5 大雨特別警戒	レベル5 土砂災害特別警戒	レベル5 高潮特別警戒
4 相当	レベル4 氾濫危険警戒	レベル4 大雨危険警戒	レベル4 土砂災害危険警戒	レベル4 高潮危険警戒
3 相当	レベル3 氾濫警戒	レベル3 大雨警戒	レベル3 土砂災害警戒	レベル3 高潮警戒
2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

出典：気象庁

様々な防災関連情報を確認しましょう！

気象庁が公開している「キキクル」はご存じですか？キキクルは、「どの場所でどれくらい」大雨や台風による洪水・土砂災害の危険度が高まっているか確認できるサイトです。土砂キキクル・浸水キキクル・洪水キキクルの3種類があり、情報はリアルタイムに更新され、最大1～3時間先までの予測をみることができます。防災気象情報と同様に5段階の警戒レベルで危険度を判定しており、黄色が「注意」（警戒レベル2相当）、赤色が「警戒」（警戒レベル3相当）、紫色が「危険」（警戒レベル4相当）、黒色が「災害切迫」（警戒レベル5相当）です。

キキクルと防災気象情報を併せて活用することで、自主避難の判断材料になります。ご自身の身の安全を守るために、まずは、ハザードマップをご自宅や職場の周囲の災害リスクをご確認いただき、大雨や台風の際は、キキクルの確認もかさず行いましょう。

活動報告

令和7年度 半田防災リーダー会の活動

石原 成已

半田防災リーダー会は、地域の防災意識の普及と防災力の向上を図ることを目的に、日々防災に関わる啓発活動を行っています。今回は令和7年度の活動を紹介させていただきます。こんな事が知りたい、学びたいといった自治会などがあれば、ご連絡ください。お役に立てると思います。

活動日	場 所	活 動 名	活 動 内 容	参加者
5/11(日)	乙川公民館	乙川防災ウォーキングの支援	非常持ち出し品の展示と解説(乙川コミュニティ)	100
7/1(火)	半田高等学校	防災出前講座	避難所運営ゲーム(HUG)の体験(1年生×2クラス)	80
7/3(木)	半田高等学校	防災出前講座	避難所運営ゲーム(HUG)の体験(1年生×1クラス)	40
7/29(火)	保健センター	防災講話&防災グッズ作成	①講話:発災時の避難行動について ②グッズ作成:ゴミ袋でのポンチョ作り&新聞紙でのスリッパ作り(保健センターのボランティア)	20
8/1(金) R8.3/1(日)	市民 交流センター	半田の防災ニュース「防人」第29号を発行 半田の防災ニュース「防人」第30号を発行	4,000部を印刷、市内の小中学校、公共施設、希望する自治会、団体に配布	
8/7(木)	住吉公民館	防災講話	講話:南海トラフ地震に付いて(住吉ふれあい会)	15
9/6(土)	市民 交流センター	まちづくり協働フェスタ(防災ブース開設)	非常持ち出し品の展示・解説・重量体験、あなたの防災力チェック、防災動画視聴など各コーナーを開設	来場者 90
9/20(土)	雁宿小学校	防災キャンプ(防災運動会)	児童の防災学習を目的に防災運動会で、①防災クイズラリー ②応急担架づくり ③心肺蘇生 ④応急手当(三角巾の活用) ⑤災害対応カードゲームを実施(雁宿小学校の生徒、PTA、雁宿小学校区)	100
9/28(日)	横川小学校	横川小学校区防災訓練の支援	非常持ち出し品の展示と解説(横川小学校区)	400
10/8(水)	雁宿小学校	雁宿小学校の防災教室	非常持ち出し品の展示・解説・重量体験(5年生×3クラス)	78
11/18(火)	さくら小学校	さくら小学校の防災教室	非常持ち出し品の展示・解説・重量体験(4年生×2クラス)	40
11/20(木)	亀崎小学校	亀崎小学校の防災教室	非常持ち出し品の展示・解説・重量体験(4年生×2クラス)	70
11/14(日)	宮池小学校	成岩中学校区 合同避難所開設訓練	非常持ち出し品の展示・解説・重量体験(成岩中学校区)	150



協働フェスタ(防災学習コーナー)



防災キャンプ(心肺蘇生訓練)

さくら小学校防災教室
(非常持ち出し品の体験)

消防用設備設計・施工・保守

- 各種防災用品
(非常食・保存水・テント・トイレ)
- 各種消防用品
- 各種床ワックス
- 住宅用火災警報器
- 消防ポンプ・ホース
- 各種防災用機材
- 感震ブレーカー

鐘長商事 有限会社

〒475-0862 半田市住吉町4丁目3番地の20
電話(0569)21-8155 FAX(0569)21-8151
✉ info@kanechou.co.jp

新築・増改築・リフォーム・工事一式

有限会社 富士工務店

1975年創業以来、地域のお客様の住まいづくりのお手伝いをしております。知識と経験を生かした丁寧な仕事が目当てです。

お気軽にお問合せ下さい。

〒475-0823 半田市港町1丁目62番地の18
TEL(0569)21-5929
FAX(0569)21-9295

防 災 豆 知 識

小笠原 円次

《災害時の心構え》

まずは自助

自分の身は自分で
守り、家族での安否確認方法
を定め、家具の固定、食料など
を備蓄、避難場所を確認する

次に近助

すぐそばの人同士(向こう三軒
両隣)の助け合い
隣近所の安否確認、困っている
人に手を差しのべる

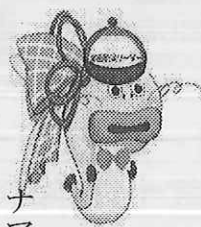
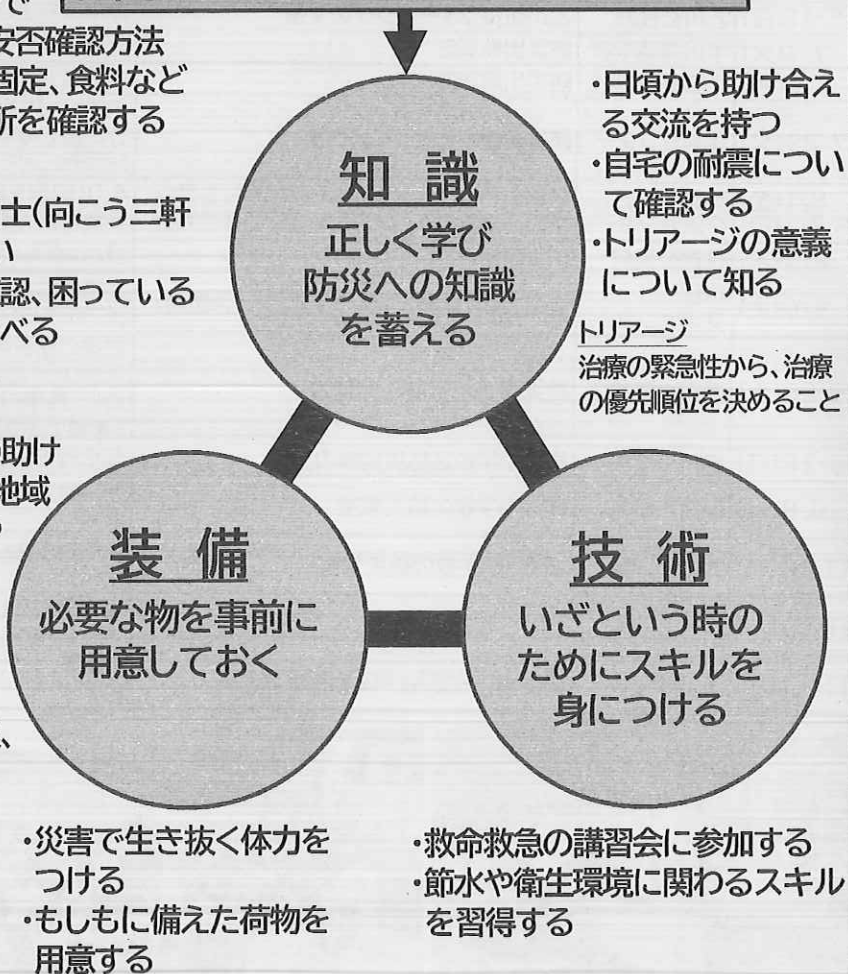
さらに共助

組織的な地域の助け
合い、自治会や地域
での安否確認や
支援を行う

最後に公助

行政など公的
機関の支援、
災害情報の伝達、
消防、自衛隊な
どの災害支援

巨大地震に立ち向かうための 自助に必要な防災の三原則



ナマズちゃんです
よろしくお願ひします

編集後記

皆川 喜雄

今年の5月に気象庁が発表する「防災気象情報」が大幅に刷新されました。気象災害の際、取るべき避難行動や避難するタイミングを自治体や住民にわかり易く伝えることが狙いです。『いつ危険險がせまるか』の参考として、夜間を避けた避難行動にも活用できます。こうした情報を生かして、気象災害に備えていきたいものです。また一人暮らしや寝たきりなどの高齢者障がい者は地域の支援が必要です。災害時の情報の把握や避難、生活の確保が的確・迅速に行えない立場にありますので、日頃から声掛けなどをを行い、顔の見える関係を築き、地域で助け合える環境を作っておきましょう。